

第35回 熊日緑のリボン賞

4団体、8個人に贈呈

善意の人々称えて

温かい心で善意の灯をともした人たちを表彰する「第三十五回熊日緑のリボン賞」の贈呈式が十一日午前十一時から熊日本社地下ホールで行われた。今回の受賞者は四団体、八個人。急病の患者を家族ぐるみで看病したタクシーの運転手さん、得意の肥後狂句で地域と通帯を深めるお巡りさん、十年以上も特技を生かして学校整備の奉仕をしている大士さんたち、おなど、みんな善意と勇気で明るい

池城社去づくりにとめた人はかり。会場では、改めて温かい拍手が続いた。受賞者の紹介のあと、安部専務が一人一人に緑のリボン賞、表彰状、副賞を贈った。安部専務は「暗い出来事の多い世のなかでの前行は、ますます強い光を放つ。今後とも、この善意の灯をともし続けていただきたい」と激励した。続いて来賓の星子熊本市長、飯田県警防犯部長、渡辺キミ熊本市

婦連会長が「自分さえよければ、物さえあればという風潮が論まらなから、それではいけないと温かい通行を行った人々はずばらしい存在だ。みなさんと一語に心の豊かな社会づくりを励みたい」とお祝いの言葉を述べた。このあと受賞者を代表して熊本交通タクシー運転手の前藤澄心さんが「思いがけない表彰に感激している。今後も、緑のリボン賞の趣旨に沿って努力したい」

いとお礼の言葉を述べ、贈呈式を終わった。これで第一回以来の受賞者は三百二十人、七十八団体となった。

- 晴れの受賞者。前列左から
 前崎澄心さん、枝尾實貴さん、黒木秀成さん、大津達義さん、塚本陽一さん、池上俊一さん、後列左から吉田剛義さん、鹿本都市建築組合連合会、桜木茂組合長、杖立温泉協会、伊津見欣一副会長、阿蘇郡南北小園しんきゅう組合、君田敷組合長、八代市盲人福祉協会、因幡善治代表、内は山下湖さん



安部熊日専務から緑のリボン賞を受ける受賞者

第35回 熊日緑のリボン賞贈呈式

